

漢方 小児科 婦人科 産科
内科
浮田医院
だより



第 72 号
医療法人 せゝらぎ会
発行所：浮田医院
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
ホームページ：http://www.ukita.gr.jp
e-mail:kanpou@ukita.gr.jp
発行日：2007年10月5日(金)
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(72) 妊娠高血圧症候群

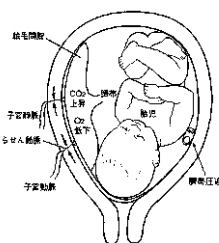
とても過ごしやすい季節になりました。萩、山吹、ススキ、彼岸花もみじ、銀杏などが次々に私たちを和ませてくれます。時間を作って、これらの木々を眺めながら、自分を見つめてみたいと思います。今月は京都国際会議場で日本東洋医学会関西支部例会があり、座長を務める関係から多くの漢方医師との出会いがあります。来月は、大津で日本東洋医学会滋賀県部会があり、滋賀県東洋医学会会長として会員の方々に有意義な時間を過ごしていただけるよう準備しています。このような学会は私にとって新しい知識と治療法を学ぶ絶好の機会です。当院の医療水準のステップアップにつながります。

妊娠高血圧症候群のお話です。
定義は「妊娠二〇週以降、分娩後一二週までに高血圧（収縮期血圧が一四〇以上、拡張期血圧が九〇



比良山（滋賀県）

以上）が見られる場合、または高血圧に蛋白尿（二日三〇〇mg以上）を伴う場合のいずれかで、且つこれらの症候が偶発合併症によらないもの」です。全妊婦の七〜一〇％、高血圧を主体とし、蛋白尿や全身浮腫をきたし、重症化すると、肝機能障害、凝固線溶系の異常、呼



吸循環障害、中枢神経系の異常、致命的な多臓器障害も起こります。肺水腫、脳出血、常位胎盤早期剥離およびHELLP症候群などとも深い関係があります。重篤な状態になる前に、体重増加、むくみ、蛋白尿、疲労感、切迫早産徴候（子宮収縮、帯下増加、出血）などの症状が現れます。食事指導（カロリー制限、塩分制限）、生活指導（休憩、昼寝、早寝）、服薬指示（主として漢方薬）を必ず守ってください。それでも症状が改善しない場合は入院管理が必要になります。

では実例に移ります。

二七歳女性、**妊娠高血圧症候群** 初産婦、一六〇cm、非妊時体重、五六kg、便秘（三日に一回）、初診時（妊娠五週）一一〇〜七〇、蛋白尿（一）、妊娠二五週より下肢に浮腫、体重六六kgに増加、一三〇〜九〇、食欲亢進、便通四日に一回、胎児発育良好、五苓散と三黄瀉心湯を処方、食事指導（カロリー一六〇〇、塩分七g）自宅安静を指導。妊娠三四週、蛋白尿（一日四〇〇mg、一五〇〜一〇〇）、浮腫（顔、手、足）、胎児発育良好。

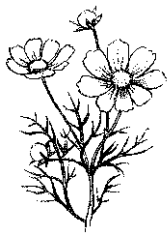




入院を指示。食事、安静、漢方薬（同）、一六〇〜一三〇〜一一〇〜九〇、蛋白尿（一日三〇〇〜一〇〇mg）、浮腫軽減。妊娠四〇週で経膈分娩（三四〇〇g）。分娩後、一八〇〜一二〇で、ペルジピン、ノルバスクを処方（母乳禁止）、産後一ヶ月、一四〇〜九〇、蛋白尿（一）、浮腫（一）、釣藤散、三黄瀉心湯に変更。六ヶ月後廃薬。

三十七才女性、**不妊症**、結婚一〇年、疲労感、食欲不振、冷え症、浮腫傾向、一六三cm、五六kg。月経周期四十五日（排卵（+））、子宮内膜症（一）、卵管閉塞（一）、顔は青白く、胸脇苦満、臍上悸、胃内停水、下腹部膨満、臍傍圧痛、脈は沈遅細。舌は淡紅色、乾膩白苔。そこで、人參、黃耆、白朮、茯苓、沢瀉、川芎、陳皮、大棗、甘草、當歸、黃耆、柴胡、乾姜、升麻、芍薬、修治附子を処方。三ヶ月後より、月経周期が改善し始め、八ヶ月後には三〇〜三五日周期。一〇ヶ月後妊娠判明。妊娠三八週で経膈分娩（二九〇〇g）。

五十九歳女性、**高血圧**、一九〇〜一二〇、一五八cm、六八kg、肩こり、頭痛、むくみ、便秘（一）



[院長]

週間に一回）。顔は赤黒く、胸脇苦満、心下痞、臍上悸、両側臍傍抵抗と圧痛、下腹部膨満。脈は沈緊、実。舌は、紅色、黄膩苔、舌下静脈怒張。そこで、柴胡加竜骨牡蠣湯、通導散、桂枝茯苓丸、サフラン、ペルジピンを処方。一週間後、一七〇〜一二〇、便秘改善。一ヶ月後、一五〇〜九〇、肩こり（一）、頭痛（一）。六ヶ月後、一三〇〜八〇。一年後の現在、漢方薬（同）、ノルバスクを服用中。四七歳女性、**腰痛症**、下肢の冷えとだるさ、食欲良好、一四六cm、四〇kg。顔は青白、腹は全体に軟弱、臍上悸、臍下悸、臍下不仁。脈は弱沈、遅。舌は淡暗色、薄乾白苔、亀裂。そこで、人參、當歸、茴香、知母、黃柏、杜仲、牛膝、乾地黄、熟地黄、破胡紙、當歸、芍薬、茯苓、甘草を処方。二ヶ月後、腰痛軽減し始め、六ヶ月後廃薬。

次回は、**漢方の流派II**についてです。



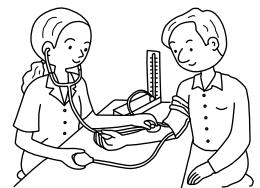
不妊症

ホルモン、子宮（子宮内膜症）、卵巣、卵管（通過障害）、子宮頸管粘液、精液などの異常を見つけ、できるだけ早期に“正常な状態にする”ため、基礎体温、ホルモン検査、超音波検査、精液検査、卵管検査などが必要です。当院では、漢方薬を中心とした治療を実施していますが、体（年齢）の状態やご希望に応じて、西洋医学的な薬剤（ホルモン剤、排卵誘発剤など）も使用しています。



高血圧

がっしりした肥満タイプが多く、大部分の方が、のぼせ、いらいら、便秘、不眠、動悸、首のこりや肩こりを訴えます。逆に、青白く細い体型で、胃腸が弱く、冷え性、虚弱、肌が荒れやすいタイプもおられます。それぞれのタイプにはそれぞれ適した漢方薬を用います。腹診、脈診、舌診、問診（食欲、便通、尿量、発汗、ストレスなど）、検査などに基づいて処方を決めています。



腰痛症

脊椎、靱帯や筋肉（脊髄腫瘍、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎圧迫骨折など）、内臓疾患（腎盂炎、子宮内膜症、子宮下垂、子宮付属器炎など）、心理的要素（うつ病、心身症など）、血行不全（瘀血）、むくみ（水毒）などが要因になります。年齢、天候、季節（エアコン）、体形（むくみ）、年齢、筋肉痛（筋緊張度、部位、部位の変動）、疲労、お産（産後）などを参考にします。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイプ**の漢方薬と顆粒**タイプ**の漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。**40～60分煮**で作ります。
当院の**顆粒タイプ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、**しっかり蓋**をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)**で保管して下さい。
漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器**(無料)をご利用下さい。

適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、**痺れ**、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性肺炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、腔分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

予約-漢方外来

土曜日の午後、予約-漢方外来があります。予約制、2回/月。
午後2時～2時20分、2時20分～40分、2時40分～3時、
3時～3時20分、3時20分～3時40分、3時40分～4時。
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。
・紫雲膏 ・太乙膏 ・アガリクス ・メシマコブ
・靈芝 ・AHCC ・サメ軟膏

漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は**毎月確認**することになっています。保険が
使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、
早急に受付に連絡して下さい。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、
その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。
往診と違い、**定期的に(月に2～12回)訪問
診療**を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、
膝の痛み、ムチウチ、捻挫、花粉症、アトピー性皮膚炎、
ストレス・・・などの治療に利用しています。

皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、
いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、膝関節痛、
足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

処置診

処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザーを
ご希望の方、**診察券**を入れ**受診者名簿**に、**氏名**を
書き**処置の欄**にチェックして下さい。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○ (予約可)	—	○ (予約可)	—	○ (予約可)	—	—

◇漢方外来(月～土)(予約可) : 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。

◇予約-漢方外来(2回/月 土曜日): 午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分
3時40分～4時 電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)

◇更年期外来(月～土曜日)(予約可): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)

◇不妊 外来(月～土曜日)(予約可): 赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)

◇妊婦 外来(月～土曜日)(予約可): 妊婦健診、妊娠中の方

◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診

◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ。電話予約可

前期と中期-母親教室

日時: 平成19年10月6日、11月10日、12月1日の各土曜日

対象: 妊娠7ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約をお願いします。*ご主人様もお気軽にご参加下さい。

立会い分娩ご希望の方は 特にご参加をお勧めします。(申し込みノートにお名前記入をお願いします)

後 期 - 母 親 教 室

日時: 平成19年10月13日(土)、17日(水)、24日(水)、11月7日(水)、

17日(土)、28日(水) 対象: 妊娠8～10ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

母親教室のお知らせ

母親教室では、“母と子のてびき”にそって、お話をすすめています。参加時には母子手帳とともに、忘れずにお持ち下さい。

(“母と子のてびき”は、分娩予約時に受付でお渡ししています。)



金匱要略

中国三大古典のひとつ、張仲景が紀元3世紀初頃著した「傷寒雑病論」の内、慢性疾患(雑病)を扱った部分を「金匱要略」と呼んでいます。筋肉・関節疾患、精神疾患、感染症、肺炎、神経症、心臓疾患、消化器疾患、糖尿病、腎臓疾患、皮膚疾患、婦人科疾患、産科疾患、寄生虫病などについて書かれています。原本は残っていませんが、3世紀に魏の王叔和、12世紀に金の成無己らが中心になって改訂し、傷寒論の理論(六経弁証)が一般の疾患にも応用できることを示して、臨床医学の完成に向かう体制づくりに貢献しました。



分娩予約

妊娠30週までに受付で予約して下さい。

ご予約には、分娩予約カードと予約金10万円が必要です。予約された方には、母と子のてびきをお渡しします。

外来の予約方法

患者様の診察の待ち時間が短くなるように、診察の時間予約をしています(再診の方のみ)。そのため、予約頂いている患者様を優先させて頂きます。また、通院中の患者様の中でお薬だけ・注射だけ・検査だけの場合は時間予約の必要はありませんので診察時間中にお越し下さい。

◆ご予約頂いておりましても、分娩などで診察を中断する事もございますのでどうかご理解頂きます様にお願い致します。

◆初診の方は予約できません。ご了承ください。

浮田医院ホームページ(<http://www.ukita.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)
老人医療のページ(在宅療養の支援)
健康のページ(健診、プライマルチェック、予防接種)
当院の施設案内、当院への交通(車、J R)

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。分娩希望の方はすべて受け付けています。

母乳相談(助産師)

母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。(電話予約可)
午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。
日程は掲示板やホームページでお確かめください。

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。

日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

従業員募集

看護師、助産師(常勤、パート)。面接: 随時、各種保険加入、賞与: 年2回、交通費支給。